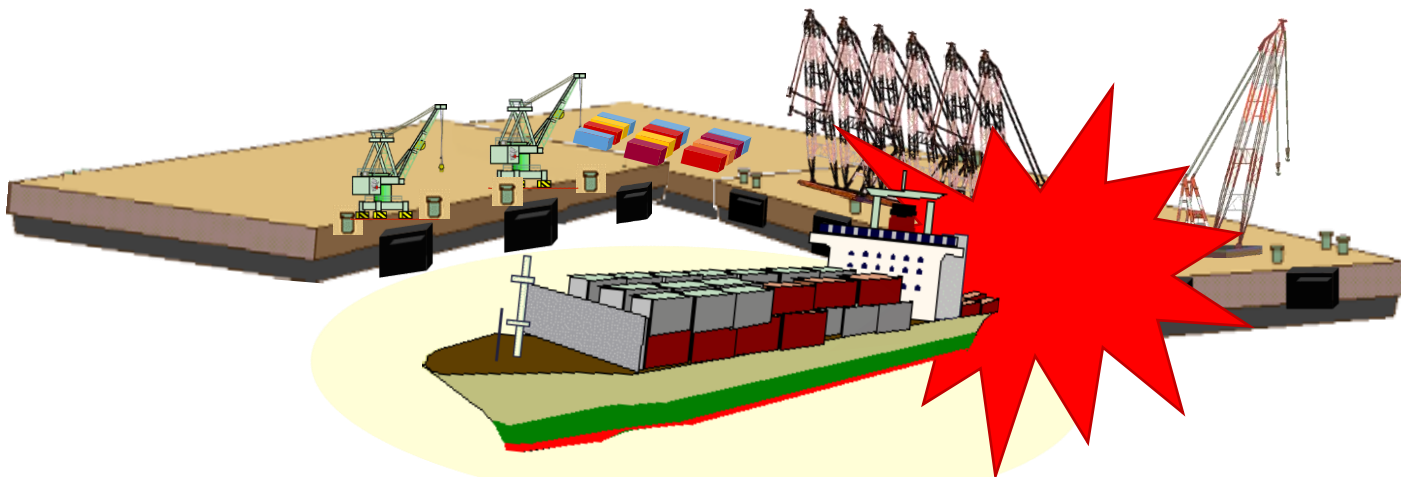


岸壁等への接触



走錨に起因する衝突

船長及び船舶代理店並びに岸壁管理者間で連絡を密にして、同種事故防止に努めるようお願いいたします。

◎最新の気象海象情報の入手に努め、強風、視界不良、夜間時において、安全な着離岸が可能であるか、無理のない適切な判断をしてください。

◎各岸壁における安全基準を厳格に遵守してください。

◎特に、水先人が乗船していない船舶やタグボートを手配していない船舶は、港内の気象海象状況等を勘案し、安全操船確保の支援体制の一つとして、「水先人」、「タグボート」、「綱取りボート」を躊躇なく要請してください。

◎錨泊時における適切な錨鎖の伸出と常時アンカーワッチの励行、VHFの聴取をお願いします。

◎台風襲来時及び荒天時には、港則法に基づく勧告のほか、気象状況に応じ「走錨注意情報」が、京浜港長から発出されます。

事故事例

JCG 問い合わせ先：横浜海上保安部航行安全課 TEL 045-201-8180

事 故 事 例

コンテナ船（総トン数：9,924t）

パイロット乗船なし。タグ手配なし。

海上風警報、強風注意報発令中。

事故船舶は、着岸岸壁にファーストラインを取ったところで12m/s程度の寄せ風に流され、船首を岸壁に接触させ且つ船尾を付近係留中の船舶に接触させた。

岸壁の車止めが破損、双方の船体に損傷が生じた。

貨物船（総トン数：6,736t）及びタンカー（総トン数：2,946t）

タグ手配なし。

海上台風警報、海上暴風警報、波浪警報、暴風警報発令中。

事故船舶2隻は、それぞれ大黒ふ頭沖及び本牧ふ頭沖に錨泊していたところ強風に流され、付近の橋梁や港湾施設に接触させた。

※貨物船（貨物積載率：2.7%、使用錨鎖7節、機関使用）

タンカー（貨物積載率：0%、使用錨鎖5節、機関使用）

みんなで気をつけよう！！

海の安全情報

海上保安庁では、全国各地の灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事の状況など「海の安全情報」を提供しています。

「海の安全情報」は、インターネットを通じて誰でも簡単に利用することが出来ます。

気象現況

気象警報・注意報等

広域緊急情報

海難の情報

カメラの映像

パソコン用サイト

<https://www6.kaiho.milt.go.jp/index.html>



スマートフォン用サイト

<https://www6.kaiho.milt.go.jp/sp/index.html>



問い合わせ先：横浜海上保安部航行安全課 Tel 045-201-8180